

2022年度 第34回 全道U-15フットサル選手権大会

兼 JFA 第28回全日本U-15フットサル選手権大会 北海道代表決定戦

札幌ブロック予選 開催要項

(2022年10月19日に赤字を更新)

1. 主 旨 日本フットサル界の将来を担うジュニアユース年代のフットサル技術の向上と健全な心身の育成を図ると共に、全道U-15フットサル選手権大会の札幌ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 2022年度 34回 全道U-15フットサル選手権大会 兼 JFA 第28回全日本U-15フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 札幌ブロック予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
6. 期 日 2022年11月19日(土)、20日(日)
7. 会 場 北海道立野幌総合運動公園 メインアリーナ
8. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。))に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル4種」年代のみとし、「フットサル3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「3種」、「4種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「3種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「4種」年代のみとし、「3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 上記(1)または(2)で主体となるチーム以外の選手が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。
 - (ア)主体となるチーム及びその選手は、それぞれ上記①、②を満たしていること。
 - (イ)合同するチームの選手は、2007年4月2日以降に生まれた選手で、JFAに登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。
 - (ウ)極端な勝利目的の為の合同チームでないこと。
 - (エ)合同チームとしての参加を北海道サッカー協会フットサル委員長が別途了承すること。

(オ)大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、主体となるチームが行う。

- (4) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、JFAの女子加盟チーム登録選手を、移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
- (5) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (6) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (7) 本大会地区予選を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
- (8) 下記(公財)北海道サッカー協会フットサル大会登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 : 登録料 2,000 円
 - ② サッカーチームの場合 : 登録料 4,000 円

9. 参加チームとその数

札幌地区予選を勝ち抜いた 16 チームとする。

10. 大会形式

16 チームを 4 チームずつに分けてリーグ戦を行う。その後、3 位・4 位リーグ戦と決勝トーナメントを行い、3 位までのチームに全道大会への出場を義務付ける。

11. 競技規則

大会実施年度のJFA「フットサル競技規則 2022/23」による。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) 使用球は、フットサル用4号ボール(各チーム 1 個持ち寄り)とする。
- (2) 交代要員の数は、9 名以内とする。登録 20 名中 14 名(先発 5 名 + 交代要員 9 名)まで印をつけることができるエントリー用紙はデータで配信されるので、大会当日持参すること。
- (3) ベンチに入ることのできる人数は 12 名以内(交代要員 9 名、役員 3 名以内)とする。
- (4) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 3 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (5) ユニフォーム
 - ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑥ 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑦ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑧ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

- (6) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。
- (7) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (8) ゴールキーパー用サポーターの色
特に制限しない。
- (9) 試合時間
1日目と2日目の決勝トーナメントは20分間(前後半各10分間)のプレーイングタイムとする。また、ハーフタイムのインターバルは、3分間とする(前半終了から後半開始前まで)。2日目の3位リーグと4位リーグは20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとする。また、ハーフタイムのインターバルは、2分間とする(前半終了から後半開始前まで)。
消毒作業等の観点から、全試合、ハーフタイムによるベンチの移動は行わず、前後半で攻撃をする(守備をするゴールを変えず、エンドを変えることはしない)。
- (10) 順位の決定は次の順序により決定する。
【予選リーグ】
① 勝点(勝3点、引分1点、負0点)
② ゴールディファレンス
③ 総得点
④ 当該チームの対戦成績(勝敗)
⑤ 抽選
【決勝トーナメント】
① 3位決定戦以外はPK方式により決定する。
② 3位決定戦においては、10分間(前後半各5分間)のプレーイングタイムの延長戦を行い、それでも決しない場合は、PK方式で勝者を決定する。
- (11) タイムアウトは適用しない。

13. マッチオフィサー

14. 懲 罰

- 決勝トーナメントの準決勝、3位決定戦、決勝戦において配置する。**
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、第34回全道U-15フットサル選手権大会に出場するチームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

15. 参 加 料

16. 参 加 申 込

- 参加料 15,000円(消費税込)
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
- (2) 参加申込は所定の参加申込書、プライバシーポリシー同意書、懲罰処分についてのアンケートに必要事項を記入し、期日までに申込先(A)へE-mailで送付すること。ファイル名の後ろにチーム名を付けること。(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)に送付される)
- (3) 参加料 15,000円(消費税込)は、大会初日、会場でつり銭の無いように納入するこ

と。

- (4) 参加申込締切日 2022年11月16日(水)正午まで(厳守)
- (5) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)へ郵送すること。なお、2022年度中に提出済みの場合は不要。
- (6) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。

- (7) 申込先 (A) (一社)札幌地区サッカー協会
〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-5
札幌市中島体育センター内 E-mail: taikai-sfa@sfa-rc.net
TEL: 011-531-7553 FAX: 011-531-7553
・参加申込書
・プライバシーポリシー同意書
・懲罰処分についてのアンケート

- (B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
北海道フットボールセンター内
TEL: 011-825-1110 FAX: 011-825-1101

17. 組合せ 地区予選の抽選により決定済み
18. 帯同審判 (1) 審判員については、帯同制による相互審判とする。チームに有資格者がいないチームは大会に参加できない。4級以上の公認フットサル審判員(1名以上)の氏名・級等を参加申込書帯同審判欄に記入のこと。今後本大会前のフットサル審判員4級新研修講習受講者で登録番号不明の場合は、登録番号欄に講習受講日、開催地を明記のこと。
(2) 帯同審判員は、役員(監督を含む)と兼ねることができる。
(3) 大会運営委員会の判断により札幌地区サッカー協会審判委員会から審判員を派遣する試合がある。
19. 監督会議 (1) 日時： 10月20日(木) 19時から
※地区予選監督会議と兼ねる
(2) 会場： web(URL等は後日、提出いただいた連絡先に送付いたします)
20. 開会式 (1) 日時： 10月20日(木) 19時から
(2) 会場： web(URL等は後日、提出いただいた連絡先に送付いたします)
21. 表彰
及閉会式 (1) 全道大会に出場する3チームに表彰状を授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、代表決定戦後に試合会場で行う。
22. 負傷及び
事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
23. その他 (1) 本大会は、大会期間を通じて、(一社)札幌地区サッカー協会第3種委員長が感染対策責任者を務め、会場担当者が会場感染対策担当者を務め、チーム役員が感染対策担当者を務める。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
(2) 本大会は、感染対策のため無観客で実施する。会場には、当該チームの選手最多20名、役員最多4名、審判団、同日同会場での試合のために来場している他チームの選手・役員、大会運営等関係者のみが入ることができる。
(3) 新型コロナウイルス感染症対策については、別に定める「競技運営進行・施設利用上の注意点」について、遵守すること。なお、今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。
(4) マッチコーディネーションミーティング
各試合競技開始時間の60分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、選手証の確認、諸注意事項の説明等を行う。

- (5) 選手証
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を、持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (6) エントリー用紙
エントリー用紙は、試合開始直前に、第3審判席に提出すること。
- (7) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに参加申込先アドレスへ電子メールにより理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、第3種委員長(西谷 090-2877-4009)へ電話で連絡すること。なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (8) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (9) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (10) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (11) 上位3チームには、2022年12月10日(土)～11日(日)、札幌市で開催される第34回 全道U-15フットサル選手権大会 兼 JFA第28回 全日本U-15フットサル選手権大会北海道代表決定戦への参加を義務づける。
- (12) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、(一社)札幌地区サッカー協会第3種委員長に報告すること。(主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。)
- ① 発熱等の健康異常がおきた場合
 - ② PCR検査や抗原検査で陽性と判定された場合
 - ③ PCR検査の判定を待っている場合
 - ④ 濃厚接触者と判定された場合。
- (13) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (14) その他、本開催要項に記載のない事項については、大会運営委員会にて協議して決定する。

以上